

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30 年 8 月 21 日

【事業所概要【事業所記入】】

事業所番号	3491100149		
法人名	医療法人社団 杏愛会		
事業所名	グループホーム恋の水		
所在地	尾道市高須町924-33番地		
	電話番号	0848-46-2240	
自己評価作成日	平成 30 年 7 月 24 日	評価結果市町村受理日	平成 30 年 8 月 27 日

※事業所の基本情報は、介護サービス公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先

【外部評価機関概要【評価機関記入】】

評価機関名	一般社団法人 みらい
所在地	広島県福山市山手町1020番地3
訪問調査日	平成 30 年 8 月 9 日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点(事業所記入)】

特に力を入れている点

利用者様に快適に過ごして頂く為に課題があればすぐ取り組むことです。ご本人に合ったオムツの見直しには、排泄ケアの専門家を招き、安楽の姿勢で過ごして頂く為の姿勢についてはポジショニングの専門家をというように、どのようにすれば、快適に過ごして頂けるかということ専門家の助言を受けながら実施しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

駅も近く、事業所のすぐ隣には郵便局、公民館があり、利便性が良い、また、運営者である協力医療機関が目の前にあり、緊急時や夜間等、安心である。近隣との交流も公民館のサークル生け花教室に参加することで色々な方との出会いで時折、訪問もあり、関係づくりが出来ている。地域の保育園児の訪問、中学生の職場体験の受け入れ等で利用者也元気をもらっている。地域の民生委員の協力もあり、地域の理解が得られ、災害対策の協力も構築されている。ケア面に於いても管理者は職員が安心して笑顔を絶やさず、楽しく支援できる様取り組まれ、利用者全員が笑顔になり、穏やかに生活できる様全職員が一丸となり取り組まれると共に利用者との会話を大切に個々の思いに耳を傾け、家族との信頼関係を築き、協力を得、二者で利用者を支えられている。利用者を看取られた時には、後日、家族から感謝のお手紙が届き、職員の励みにもなり、あらためて、色々な事を気付かせてもらい、段階に応じた研修も行いケア技術の向上につなげている。また、運営推進会議も色々な分野の方の参加があり、意見も多く、充実した会議となっている。理念にもある笑顔を大切に細やかなケアの実践と地域との密な関係づくりも築かれ地域の一員として日々交流されている。今ではその地に無くてはならない、安心できる事業所となっている。

自己評価および外部評価結果

自己 外部	項 目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ところどころに理念を掲示して、朝礼時には皆で唱和し理念を意識して取り組んでいます。	玄関やトイレ、事務所等に掲示し、迷いが生じた場合はその時に読むことで原点に戻る機会としている。又、毎日の朝礼時に順番に読み上げ、一人ひとりが理念を意識し、実践に繋げる様取り組まれている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	シティークリーニングや公民館活動(生け花)に参加、他の地区の民生委員さん施設訪問の実施、地域の保育園児と利用者とのふれあい等で、地域の方との交流を深めている。また、通路時での挨拶を心がけています。	地域行事や清掃活動、公民館の生け花教室に参加したり、中学生の体験学習の受け入れや保育園児との交流等積極的にされている。民生委員の方へ認知症についての講演をされ、理解が得られる働きかけなども行い、地域資源と地域貢献に繋げている。ホーム通信も配布し、地域の理解と一員として交流出来る様努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	生け花をされている地域の皆さんと一緒に話す機会があり、認知症の方の対応や、ミキサー食のレシピの配布等、一緒に取り組ませて頂いている。又家族の方にも認知症を理解していただける様お話させていただいている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、それぞれの職種の立場からのお話を聞くことができ、実行できることは、職員と協議しサービスの向上に取り組んでいる。	家族代表、民生委員、地域代表、地域の消防団代表、公民館サークル代表、包括支援センター当の参加により、幅広く現状について報告し、多くの意見が得られ、サービス向上に活かしている。栄養相談や災害等について等、貴重な意見もあり、有意義な会議となっている。勉強会となる事もある。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	疑問点や相談ごとがあれば、電話で尋ねたり、市役所まで出向いて相談に乗って頂いている。	困難事例や疑問点があれば即電話や出向いて、相談し、適切なアドバイスや情報等が得られている。今では顔見知りの関係も出来、協力関係が築かれている。包括共連携が図られている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束委員会を設け、職員全体が身体拘束をしないということについて理解し、日々取り組んでいる。勉強会も行っている。	基本身体拘束はしない方針である。拘束委員会もあり、定期的に話し合いも行い、全職員が正しく理解できる様、日々取り組まれていると共に資料や事例を基に勉強会もされ、リスクに対しては細かく状況を把握し、ケース会議で検討し、抑圧のない支援ができる様取り組まれている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会やミーティング等の場で虐待について話し合いの場を持ち、全員が意識して取り組んでいる。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を開き、全員が制度を理解できるよう取り組んでいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約、または改定等の際は、文章を読み上げながら、十分な説明を行い、理解・納得をして頂いている。その上で、必要書類に署名・捺印をお願いしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にご意見箱を置き、家族様等の声を聞かせて頂いて、それらを運営に反映させている。また、月一回は必ず家族様と現状の説明等、意見交換を行っている。	訪問時や行事等で状況を報告する際、把握する様努めている。又、利用料の支払いの為、必ず毎月来られるので、その機会を利用し、話し合いを持ち、意見や要望を聞くよう取り組まれている。色々な方からの意見等は全職員に周知し運営にも反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回全員が集まる機会を設け、日ごろから意見が出易いような関係作りを心がけている。全体会議月一回、ユニット会議月一回、10分ミーティング毎日実施している。	全体会議やユニット会議等で、聞く機会を設けている。又、日々のケアの中でも聞く事もある。管理者は楽しい職場になる様、働きかけをし、コミュニケーションを大事に、どんな些細な意見も大切にされている。個人面談も年1回ある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は往診等で職員の勤務状況を把握している。日々の就業姿勢等、職員同士がお互いに認め合い、協力し、向上心をもって取り組んでおり、職場環境整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	いろいろな研修への参加を積極的に勧めており、全員で共有し個々のスキルアップに繋げている。今はキャリアパス支援研修に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流する機会を作り、訪問し、レクリエーションを一緒にすること等で交流を深めている。今回の災害では、断水となり、訪問し入浴をさせて頂きました。		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	契約の段階で、本人・家族の困っていること、不安、要望等を聞かせて頂き、安心して頂けるようなサービスを提供させて頂くことで、良い関係作りに努めている。正直にできる事、出来ない事を説明している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	職員全員が、家族が相談し易いような関係作りを心がけており、面会時には必ず、笑顔で言葉を交わしていある。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期のサービス導入時より必要をされているサービスに対応できるよう、事前にしっかりと情報収集をするよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者を尊重しながら、残存機能に応じた作業を一緒に行うことで暮らしを共にするもの同士の関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族にも協力して頂き、共に本人を支える関係築いている。1ヶ月に一回は必ずお会い出来るため、お互いに情報交換を行っています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの関係を制限することなく、馴染みの方が来られた時には、くつろいで話ができるように環境等を配慮しています。また、心の面でも昔楽しかったことをテーマにおしゃべりの時間を随時設けている。	家族や親戚の訪問も多く、お友達が訪問される事もある。常に訪問し易い雰囲気づくりに努めている。希望でドライブを兼ね馴染みの場所へ行ったり、自宅へ2～3時間帰られる方もいる。本人の思いを大切に馴染みの場所や人との関係が少しでも長く継続出来る支援を心掛けている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	各利用者の性格や感情の変化を把握した上で、職員が間に入り、利用者同士の交流のきっかけ作りを行ったり、関係作りに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設へ入られても、面会に行ったり、必要に応じて相談、支援を行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人に話を聞いたり、困難な場合は家族に話を聞くなどして、ひとり一人の思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。(その人らしい暮らしができるよう職員全員で話合っている)	生活歴を把握し、その中から話題を見つけ、会話する時間を多く持ち、意向の把握に努め、色々な場面での思い等は職員に周知すると共に検討し、可能な限り沿うように努めている。外食や買い物等の希望が出る。表出困難な方には家族の協力を得ると共に表情や行動から検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報提供書や、本人、家族の話を聞き、ひとつでも多くの情報が得られるように、努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する能力等を細かく観察をおこない、スタッフ間で共有し把握に努めている。毎日の10分間ミーティングが役立っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族、Dr、Ns、職員でカンファレンスを開き、本人がより良く暮らすための課題について話し合い介護計画を作成している。	ケース会議の中や日々のケアから、個々のニーズや課題について職員の意見、家族、本人の要望を基に担当者会議で検討し、柔軟、かつその人に合った計画を作成している。担当者会議には医師や家族の参加もある。モニタリングや見直しは3ヶ月ごととしている。変化があればその都度見直している。家族の承諾も得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録を細かく行い、日々の変化や様子、ケアの実践結果、気づきや工夫など、10分間ミーティングで常に職員間で情報を共有し、見直しをおこなっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出や外食等、個別の希望にも応え、幅広く対応できるように努めたいと考えています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の公民館、郵便局、スーパー、医院（内科）、歯医者、眼鏡店、保育園等があり、必要時に利用している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を重視し、家族の協力を得ながら適切な医療が受けられるよう支援しています。	協力医療機関の方が多く、かかりつけ医が2名、通院支援をされている。又歯科や心療内科等の訪問支援もある。他科についても通院は事業所が行い、その都度家族に報告され、共有し、安全確保に努めている。運営者が協力医療機関であると共に近くにあり、夜間や緊急時にも安心である。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師には日々の心身の状態や情報、気づきを伝え、都度相談、指示を受けながら利用者が適切な受診や看護が受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関との連携を密にとり、利用者が安心して治療を受けられるよう、看護師と連絡を密にして医師との関係作りを行っている。また、退院後にはカンファレンスを行い、退院後必要なケアがすぐ行えるようにしている。病院関係者との情報交換や相談は地域連携室を通して行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時にある程度の方向性を話し合い、必要な段階には、家族を含め、主治医、看護師等と十分な話し合いを行い、チームで取り組んでいる。外部研修によりスタッフも医療の知識を持ち、取り組めるよう心掛けておる。	事業所としての方針は利用開始時説明されている。状況変化が起きた場合は、家族の意向の確認を行い、主治医、家族、看護師等で十分に話し合い、方針を共有し、とり組まれている。体験もされ、家族より感謝のお手紙も頂いている。協力医の研修や外部の研修にも参加し知識を持って対応できる様努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	発熱の対応、高血圧の対応、誤嚥の対応等、応急処置ができる。Drにより実践力を身につけている。事故発生時には、高橋医院に連絡する。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策委員会を立ち上げ、火災、地震、水害の災害時についての検討会を3ヶ月に1回開いている。年2回の避難訓練を行い、利用者の安全な避難方法の確認、災害時の協力を自治会にもお願いしている。また、消防団や消防署の全面的な協力体制を築いている。	年2回訓練を行い、実践力を身につける様取り組まれ、災害対策委員会も立ち上げ災害時の対応について話し合うと共に、非常袋の準備もしている。地域の消防団の協力や地域との連携も築かれ、今では協力体制が強化されている。非常袋には個々の情報や薬などを入れ、二次災害にならない様取り組まれている。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの生活史や思いを大切に感謝の気持ちを忘れずにケアにあたっている。言葉遣いや接遇は勉強会で学び、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応を心がけている。	個々を尊重し、それぞれの生活歴に沿った声かけをされ、馴れ合いになっても節度ある対応をするようミーティングで周知徹底している。排泄時の声かけや入浴時等でもプライバシーに配慮した支援を心掛けている。研修もされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望を表し易いような言葉かけを行ったり、環境づくりにも気を配り、自己決定できるように働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者本位のケアを行い、一人ひとりのペースを大切にしてその人らしい生活が送れるよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしさを大切にし、趣味や好きな色、お気に入りの洋服等を把握し、喜んで頂けるように支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	エプロンを出して頂いたり、テーブルを拭いたり、食器を並べたり、洗ったりするなど、一人ひとりにできる力に応じて職員と一緒にしています。	ミキサー、キザミ、おかゆ等、個々の状態に合わせた形態で、食を促す声かけや支援をしながら、ゆったりとしたペースで食べられている。ご飯がきらいの方にはパン食で対応している。管理栄養士が常に栄養バランスを考えられたメニューとなっている。力量により出来る方には手伝ってもらい、力量発揮の場面作りもされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりにあった、栄養バランスや水分量の指示を主治医から受けている為、それが確保できるよう支援させて頂いています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に一人ひとりの状態にあった方法で、口腔ケアを行っています。また、一週間に一回、歯科衛生士にマウスケアを、月に一回、歯科医往診で定期健診を行っています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排尿パターンを把握し、それに合わせてトイレ誘導を行うことで、失敗やオムツ類の使用を減らせることができています。排便もトイレに行っています。	日中は、個々の時間帯でトイレ誘導を行い、生活習慣を活かす事と機能維持の為、トイレでの排泄に努めている。又、その人に合ったパットの工夫を行い気持ち良く生活できる事を大切にした支援を心掛けている。自立の方もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便パターンや状態の把握を行い、運動を行ったり、水分量を増したり、おやつも排便に効果ある物を意識して提供したり、冷たい牛乳を飲んで頂いたりするなど、なるべく薬に頼らない排便を目指し取り組んでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人ずつ浴槽の湯ははり替えを行い、本人のペースで個別入浴を行い、個別に添った支援で入浴を楽しんで頂いています。	週2回、声かけでその時の希望を聞きながら、毎回、気持ち良く、楽しく入浴してもらえるよう努めている。一人ひとりお湯は入れ替え清潔かつ安心して個々に沿った支援をしている。拒否の方にはタイミングや声かけの工夫をし清潔保持に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休息時や夜間の睡眠時、場所など、本人の気持ちを大切にクッションを使用するなどして安楽な姿勢を保ち、また、部屋の温度や湿度を調整し、安心して気持ちよく眠って頂けるように配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬については目的や副作用などの理解に努め、病状の変化等の確認、安全で確実な服薬の支援をおこなっています。薬の変更時には全員に共有できるボードを作成しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	残存能力を活用し、一人ひとりに役割があり、また趣味を楽しむことで気分転換ができ、その人なりに充実した喜びのある生活が送れるように支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望がある場合には体調や天候等、スタッフ人員を考慮して出来る限り、外出支援ができるように努めています。デイサービスに車をかり、福山のイトーヨーカドーで食事とショッピングを楽しむ等、外出支援しています。	四季(お花見)の外出や希望でドライブや買い物などに出かけたり、地域行事や公民館の生け花教室等に出かけ気分転換や五感刺激となる支援に努めている。時には遠出の外出(福山のイトーヨーカドー)もされ、買い物や外食等楽しまれている。散歩は日課とし外気に触れる機会も持たれている。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	1万円位を個々の小口現金として預かり、生活必需品、消耗品をあらかじめ了承し、小口現金ノートを作り、いつでもお出しできるようにお預かりしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人自ら電話をかけたい希望があれば、事務所の電話を使用して頂き、困難な方は番号入力職員が行い、本人が話が出来るように支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって、不快や混乱を招くような刺激が無いように配慮し、居心地よくゆったりとくつろいでいただけるように家具等配置、季節の飾り、生け花等で環境を整えています。	玄関には利用者の作成されたぬり絵や季節のお花もあり、廊下には行事の時の写真、木目込み人形の額等が飾られ落ち着いた雰囲気である。不快な匂いや死角もなく、大きなソファも置かれ、好きな場所で過ごすことができる。食事準備の音や匂いが五感刺激となり生活感のある共有の場となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファなどを設置して自由にくつろいで頂けるようコーナーを設けています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた馴染みの物を置いて頂いたり、本人の好きな物や、お孫さんなどの写真を飾られたりするなどして、ご自分の部屋として居心地よく住めるように工夫しています。	家族写真や家族が描かれた油絵等が飾られ、見る事でその時々を思い起す事ができる。又、寝具やタンス、収納ケースも置かれ、その人らしさを感じれ、自宅とのギャップが無い様、配慮され、穏やかに過ごせる様工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	部屋のドアには自分の部屋であることが確認できるように名前を書いています。トイレもドアに表示があります。廊下も自由に移動できるように安全を確保しています。		

V. サービスの成果に関する項目【アウトカム項目】

項目		取り組みの成果(該当するものに○印)		項目		取り組みの成果(該当するものに○印)	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼすべての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼすべての家族と
			②利用者の2／3くらいの			○	②家族の2／3くらいと
		○	③利用者の1／3くらいの				③家族の1／3くらいと
			④ほとんど掴んでいない				④ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		①毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に一度程度ある				②数日に1回
			③たまにある			○	③たまに
			④ほとんどない				④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼすべての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②利用者の2／3くらいが			○	②少しずつ増えている
			③利用者の1／3くらいが				③あまり増えていない
			④ほとんどない				④全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き活きた表情や姿が見られている		①ほぼすべての利用者が	66	職員は生き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
		○	②利用者の2／3くらいが				②職員の2／3くらいが
			③利用者の1／3くらいが			○	③職員の1／3くらいが
			④ほとんどない				④ほとんどない
60	利用者は戸外の行きたい所へでかけている		①ほぼすべての利用者が	67	職員から見て利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2／3くらいが				②利用者の2／3くらいが
			③利用者の1／3くらいが			○	③利用者の1／3くらいが
		○	④ほとんどない				④ほとんどない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている		①ほぼすべての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②利用者の2／3くらいが				②家族等の2／3くらいが
			③利用者の1／3くらいが			○	③家族等の1／3くらいが
			④ほとんどない				④ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		①ほぼすべての利用者が				
		○	②利用者の2／3くらいが				
			③利用者の1／3くらいが				
			④ほとんどない				

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム 恋の水

目標達成計画

作成日: 平成 30 年 8 月 27 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	2	地域との連携は出来ているが、更に地域に根づいて行く為にグループホームの役割を見直し出来る事を行っていきたい。	地域の認知症介護の拠点となる。	地域に向けて主に認知症に関することをテーマにした(地域)だよりを発行する。	1年
2	19	家族同士、話し合える機会が無い。	家族同士が交流出来る機会を作る。	家族会を作り、年に1～2回開く。家族を含めた行事を行う。	1年
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。